

報道関係者各位

令和6年4月23日

**11月13日～15日開催**  
**「第83回全国産業安全衛生大会 in 広島」**  
**特別講演は Deportare Partners 代表 為末大氏に決定！**

中央労働災害防止協会（略称：中災防、会長 十倉雅和・日本経済団体連合会会長）は、令和6年11月13日（水）～15日（金）の3日間、広島県広島市で「第83回全国産業安全衛生大会」を開催します。

広島での開催は平成26年以来、10年ぶりで、広島県立総合体育館、広島国際会議場のほか、市内の施設において総合集会および分科会を開催します。会期中は全国の企業・団体・教育機関等から10,000人を超える参加者を見込んでいます。

今回のテーマは「変わる時代に 変わらぬ誓い 安全・健康・平和な未来」です。

初日の総合集会では、為末大氏（Deportare Partners 代表／元陸上選手）が「熟達しつづけるために」と題して特別講演を行います。組織も人も熟達することでより良い成果をあげることができ、熟達を通してより良い人生を歩むことができるという考えを基本に、熟達を助けるコミュニケーションのほか、個人の熟達・組織の熟達を5段階のプロセスに分けてお話しいたします。

2日目、3日目の分科会では有識者による専門的な講演40本のほか、化学物質の自律的管理や治療と仕事の両立支援をテーマにしたシンポジウム等、職場の労働災害防止や健康づくり等に取り組む企業・団体・教育機関による研究発表を150本予定しています。

<予定している講演、シンポジウム等の内容と演題>（一部）

- オタフクソース株式会社 代表取締役社長 佐々木 孝富氏  
「社員が活躍できる環境整備の重要性～オタフクソースの理念と様々な取り組みについて～」
- ツナグ働き方研究所 所長 平賀 充記氏  
「Z世代のトリセツ～若者の価値観を理解し自律自走を支援する～」
- 筑波大学人間系心理学域 准教授 藤 桂氏  
「“孤”をつなぎ、“個”を活かす職場へ～職場でのユーモアと心理的安全性の観点から～」
- NAOSH コンサルティング 代表 中原 浩彦氏  
「化学物質の自律的管理の仕組み構築と化学物質管理者への期待」

（裏面に続く）

- パネルディスカッション  
「化学物質の自律的管理 化学物質管理者の活躍に向けて」
- シンポジウム  
「治療と仕事の両立支援」

分科会の構成（予定）は次のとおりです。

全国産業安全衛生大会 分科会構成

- (1) マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会
- (2) ダイバーシティ等分科会
- (3) 安全管理活動分科会 (①～③)
- (4) DX等分科会
- (5) 機械・設備等の安全分科会
- (6) 安全衛生教育分科会
- (7) ゼロ災運動分科会
- (8) 労働衛生管理活動分科会
- (9) 化学物質管理活動分科会
- (10) メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会

- 参加者専用の閲覧サイトでは、現地開催プログラムとは別に、オンライン限定プログラムとして企業・団体等による研究発表を約 60 本ご覧いただけます。

また、国内最大の安全衛生保護具・機器等の総合展示会「緑十字展(りよくじゅうじてん)2024 -働く人の安心づくりフェア-」を広島県立広島産業会館において同時開催します。入場無料で、会期中は約 15,000 人の来場を見込んでいます。特別企画展「中四国ビジネスマーケット」では、中四国エリアの企業各社が出展します。全国から訪れる来場者との商談の場であるとともに、地元の他企業・異業種との情報交流の場となります。

全国産業安全衛生大会は、「全国産業安全大会」として 1932(昭和 7)年に開催して以来、働く人の安全・健康の確保と労働災害の撲滅を目的として、労働安全衛生に関する最新の情報を提供しています。詳細は【別紙】をご覧ください。

講演やシンポジウムの詳しい内容、参加申込案内などの最新情報は 5 月 1 日(水)より公開する「全国産業安全衛生大会特設ウェブサイト」にて順次公表していきます。<https://jisha-taikai2024.com/>

※この資料は、厚生労働記者会、労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、鉄鋼研究会、自動車産業記者会、広島経済記者クラブに配布しています。

【担当】 特別民間法人 中央労働災害防止協会

教育ゼロ災推進部 部長 寺島 友子

【照会先】 総務部 広報課長 高須 幸治

(電話) 03-3452-6542 (e-mail) koho@jisha.or.jp

# 全国産業安全衛生大会の 誕生とあゆみ

## ◆ 昭和7年、第1回『全国産業安全大会』 東京で開催

第1回の全国産業安全大会が、(財)産業福利協会の主催により、1932(昭和7)年11月21日から3日間、東京・神田の学士会館で開催され、300人を超える人たちであふれた。

安全運動の先駆者・蒲生俊文の司会のもと、“同志が集う”会場には熱気があふれ、互いに手を取り合って安全運動を推進していこうとする連帯ムードが高まった。

大会の目的の一つである「連帯」は十分に果たされたが、それにも増して注目されるのは、その後ひたむきに継続されることとなる安全対策への「科学の導入」といえるものであった。

それは、「人間とは何か」にメスを入れ、人間の持つ弱点をカバーする方策に取り組もうとする科学的姿勢が、企業の中に生まれつつあることを示したものであった。



盛況な第1回全国産業安全大会(昭和7年11月・東京・学士会館)

## ◆ 昭和29年、第1回『全国労働衛生大会』 東京で開催

1954(昭和29)年10月14、15日の2日間、東京の読売ホールにおいて、全国から1,300人の主に労働衛生管理に携わる関係者が集い、第1回の全国労働衛生大会が開催された。

北は富士製鉄(株)室蘭製鉄所から南は旭化成(株)延岡工場まで、いずれも衛生管理の進んだ事業場からの発表であった。結核、鉛中毒、けい肺などの予防に関する報告が目立った。

## ◆ 昭和44年に『安全大会』と『労働衛生大会』が一本化されて『全国産業安全衛生大会』に

1967(昭和42)年の東京大会は、労働基準法施行20周年記念大会として初めて安全、衛生両大会の合同開催となり、参加者は13,000人を数えた。



全国産業安全衛生大会・総合集会

翌々年の1969年(昭和44年)には現在の「全国産業安全衛生大会」の原型が生まれ、内容を拡充するとともに「緑十字展」を盛大に開催することとなった。

2020（令和2）年、第79回札幌大会は新型コロナウイルス感染症拡大により開催中止を余儀なくされたが、翌2021（令和3）年の第80回東京大会はオンライン配信と並行して開催。以降、全国産業安全衛生大会は現地開催を基本としながら、参加者にはオンラインで視聴可能な限定プログラムを配信するなど、時代のニーズに合わせたイベントに進化している。

## 総合展示会「緑十字展」の併催

### ◆ 緑十字展とは

安全衛生保護具、機械の本質安全化にかかる機器、職場環境・作業方法の改善機器、健康増進機器等の展示や装着体験セミナー等を通じて、職場の安全衛生を普及・促進し、労働災害の防止、働く人の心身両面にわたって健康で快適な職場環境づくりに関する安全と健康の最新情報と技術をご紹介しますわが国最大の展示会である。



緑十字展のようす

### ◆ 第1回緑十字展は昭和43年、安全会館（東京都港区）で

1968（昭和43）年9月30日から10月7日にかけて、東京都港区の安全会館および同会館前広場において、全国労働衛生週間にあわせて開催された。

翌1969（昭和44）年に名古屋市で開催された全国産業安全衛生大会から、毎年同時開催するようになり、現在に至っている。

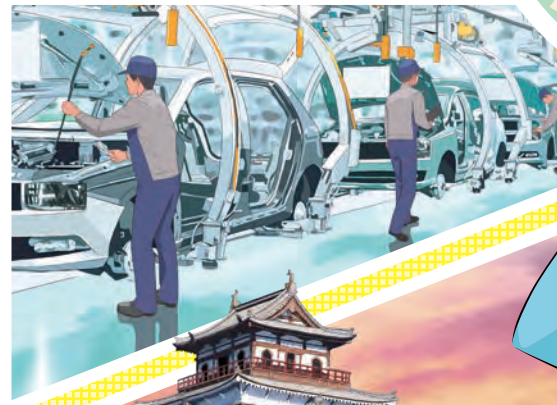


展示ブース例



安全衛生保護具体験道場

# 全国産業安全衛生大会



参加申込  
6月上旬より  
受付開始

令和6年

開催期間 **11月13日水** ~ **15日金**

オンライン限定プログラム視聴期間：令和6年11月13日(水)～29日(金)  
(※現地開催プログラムとは異なる内容です。現地開催プログラムの配信は行いません)

会場

総合集会：広島県立総合体育館  
(広島グリーンアリーナ)

分科会：広島国際会議場

広島市文化交流会館・JMSアステールプラザ

参加費

一般 1名 16,500円 (税込)

中災防賛助会員 1名 8,250円 (税込)

同時開催

緑十字展2024 広島県立広島産業会館

総合集会 特別講演



『熟達しつづけるために』

Deportare Partners 代表  
元陸上選手

為末 大 氏

インターネットでのお申込みは特設ウェブサイト(サイトオープンは5月上旬)から。  
詳しくは中災防ホームページ(<https://www.jisha.or.jp/taikai/>)をご覧ください。

【主催】中央労働災害防止協会  
【協力】公益社団法人広島県労働基準協会・中国ブロック各労働基準協会  
【協賛】各都道府県労働基準協会(連合会)、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、  
港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会  
【後援】厚生労働省、国土交通省、環境省、スポーツ庁、警察庁、ILO駐日事務所、広島県、広島市、  
一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、全国中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会、  
一般社団法人中国経済連合会、広島県経営者協会、広島県商工会議所連合会、広島商工会議所、  
広島県商工会連合会、広島県中小企業団体中央会、日本労働組合総連合会広島県連合会、  
一般社団法人広島県医師会、広島県社会保険労務士会、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会、  
公益社団法人日本保安用品協会(順不同/予定、申請中含む)

全ての働く人々に安全・健康を ~ Safe Work, Safe Life ~

**JISHA 中災防**  
Japan Industrial Safety & Health Association



中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 イベント事業課  
TEL : 03-3452-6402 <https://www.jisha.or.jp/>



全国産業安全衛生大会は、全国から産業安全・労働衛生の関係者が一堂に集い、企業の研究発表や、専門家による講演などを行う、国内最大の安全衛生イベントです。産業現場での安全と健康の確保を誓う安全文化の祭典に、ぜひご参加ください。

## 総合集会

開会式のほか、安全衛生に功績のあった方々の表彰、厚生労働省の講演、特別講演などを行います。

# 11月13日(水)

会場 広島県立総合体育館 (広島グリーンアリーナ)

13:15～17:00 (開場11:30予定) [アクセス] 路面電車「紙屋町西駅」「原爆ドーム前」等より徒歩5分 [所在地] 広島県広島市中区基町4-1

### 特別講演

### 『熟達しつづけるために』



組織も人も熟達をすることで、より良い成果をあげることができ、また、熟達を通してより良い人生を歩むことができると考えています。熟達を助けるコミュニケーションのほか、個人の熟達・組織の熟達を5段階のプロセスに分けてお話しします。

Deportare Partners 代表/元陸上選手 **為末 大氏**

【プロフィール】 1978年広島県生まれ。スプリント種目の世界大会で日本人として初のメダル獲得者。男子400メートルハードルの日本記録保持者(2024年3月現在)。現在はスポーツ事業などに取り組む。

## 分科会

全国の事業場からの研究発表をはじめ、最新の安全衛生の課題に対応した講演、パネルディスカッション等、多彩なプログラムを予定しています。

# 11月14日(木)、15日(金)

会場 広島国際会議場・広島市文化交流会館・JMSアステールプラザ (広島県広島市中区)

### 講演 ダイバーシティ等分科会



11月15日(金)  
13:40～14:40

オタフクソース(株)  
代表取締役社長

**佐々木 孝富氏**

『社員が活躍できる環境整備の重要性～オタフクソースの理念と様々な取り組みについて～』

### 講演 安全衛生教育分科会



11月14日(木)  
14:30～16:00

ツナグ働き方研究所  
所長

**平賀 充記氏**

『Z世代のトリセツ～若者の価値観を理解し自律自走を支援する～』

### 講演 ゼロ災運動分科会



11月14日(木)  
15:40～16:40

筑波大学  
人間系心理学域 准教授

**藤 桂氏**

『“孤”をつなぎ、“個”を活かす職場へ～職場でのユーモアと心理的安全性の観点から～』

分科会名	日程	分科会名	日程
マネジメントシステム・リスクアセスメント分科会	11/14、15	機械・設備等の安全分科会	11/15
ダイバーシティ等分科会	11/15	安全衛生教育分科会	11/14、15
安全管理活動分科会①	11/14、15	ゼロ災運動分科会	11/14
安全管理活動分科会②	11/14、15	労働衛生管理活動分科会	11/14
安全管理活動分科会③	11/15	化学物質管理活動分科会	11/15
DX等分科会	11/14	メンタルヘルス・健康づくり・健康経営分科会	11/14、15



本大会の参加者の方は、大会期間中、参加章の提示によって、「広島平和記念資料館」の観覧料が免除となる予定です(現在申請中)。詳細が決まり次第、特設ウェブサイトにてご案内します。

参加費 一般 1名 16,500円(税込)  
中災防賛助会員 1名 8,250円(税込)

※上記参加費にて3日間の現地会場へのご入場に加えて、オンライン限定プログラム(現地開催プログラムとは異なる内容)をご視聴いただけます。

お問合せ先 中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部  
イベント事業課 TEL: 03-3452-6402